



「大暖冬」という言葉が聞かれるほど暖かった2月もあとわずかとなりました。

今月は「1年間のまとめをしよう」の月目標のもと生活をしてきました。3月にかけて1年間を振り返り、学習や生活のまとめをする大切な時期ですが、子どもたちの生活面にある変化が見られるようになってきました。それはあいさつです。一時、あいさつの声あまり聞かれず思案していたのですが、今月に入り自分からあいさつをする子どもが増えてきたと感じています。また、登校指導や見守りの保護者や地域の方からも同じような言葉をいただきます。

1年間を振り返り、よりよくなるためにどうしたらよいかを考える子どもが増えてきたのでしょうか。また、企画委員会の子どもたちによる地道なあいさつ運動やご家庭や地域でのご協力も影響していると思います。

これからも継続していくことができるよう、あいさつの大切さを伝え続けていきます。

2月の生活より

まずは、二宮小学校伝統の「二小チャンピオン」大縄大会。2・4・6年の部が19日(水)に開催されました。この大縄大会が近づくと、朝の時間や休み時間にクラスで練習する姿が校庭のあちらこちらで見られます。回数をみんなで数えながら跳んだり、励ます声をかけ合ったりするなど、学級の友達と一つのことに力を合わせて取り組む絶好の機会になっています。

この大縄大会ですが、大人数で一斉に跳ぶのではなく、一人ずつ順番に跳んでいきます。制限時間3分で何回跳べたかで勝負をします。

1・3・5年の部は3月3日(火)に予定されています。

では、大会の結果を発表します。

<2・4・6年の部>

2年生は、93回で3組の優勝。焦らずに一人ずつ慎重に確実に跳ぶことで回数を伸ばしました。



4年生は、171回で1組の優勝。高学年にも負けないすばやいリズムカルな動きで、次々と跳びこしていました。



6年生の優勝は1組でなんと220回。1分間で70回以上跳んだことになりません。縄を回す子との息もぴったり合い、最高学年としての貫禄を見せました。



次に、20日(木)の「にのプロ」についてお伝えします。この日の活動は、「6年生に感謝の気持ちを込めてメッセージカードを贈ろう」でした。今回も6年生からバトンを受けた5年生が中心です。

まず、6年生をどのように迎えるか各班で考えました。アーチを作りその下を6年生に通ってもらう、みんなで向かい合って拍手をし、その間を6年生に通ってもらうなど、各班それぞれでアイディアが出されました。次にみんなで考えたこと。それは、教室にどんなメッセージを書いて6年生を迎えるかです。



「1年間にのプロを支えてくれてありがとう。」など、これまでの感謝の気持ちを伝えるメッセージが書かれました。

いよいよ6年生の登場です。迎え入れる下級生、迎えてもらう6年生、みんなが笑顔です。まず、下級生を代表して5年生からこれまでの感謝の言葉が伝えられました。そして、6年生一人ひとりに「中学校では勉強や部活に頑張ってください。」「今までありがとうございました。」などの言葉とともに下級生からのメッセージが書かれたカードが贈られました。最後に、6年生から下級生に向けて励ましの言葉や、5年生に対して交流班のリーダーとして期待する言葉が伝えられ、会が終了しました。



今年度の交流班での活動はここで終了です。来年度の6年生の活躍を期待しています。

